

神奈川県丘陵部における 行動実態調査報告書（概要版）



詳細版についてはこちら

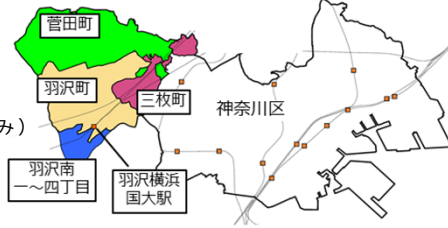
調査概要

神奈川県では、神奈川県の西部エリアにお住まいの方に対して、お住まいのエリアに関することや、日常における行動経路などをお聞きし、地域の方が感じている課題等を把握し、民間企業等との連携も含めた地域交通への対応策や将来的なまちのあり方等の検討をするため、アンケート調査を実施しました。

調査エリア：三枚町、菅田町、羽沢町、羽沢南一～四丁目
(以下、「丘陵部」という。)

【調査エリア】

調査対象：調査エリア内の3,000世帯の世帯主、及び同居の方1名。住民基本台帳から無作為抽出。いずれも18歳以上を対象。



回収票数：2,234票

回収率：37.2%（配布票数全体）、48.3%（世帯主のみ）

調査期間：令和4年10月19日（水）～11月25日（金）

調査方法：郵送による配布・回収

※回収は電子申請・届出システムも併用

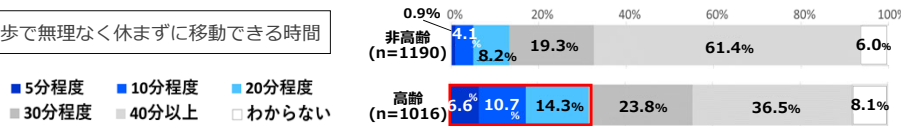
※調査結果は以下のとおり定義し記載しています。
非高齢：18歳以上64歳以下、高齢：65歳以上
前期高齢：65歳以上74歳以下、後期高齢：75歳以上

1 お出かけの困りごと

徒歩で無理なく休まずに移動できる時間

- 高齢の回答者の31.6%が、20分程度を超えた継続的な歩行が困難と感じている。

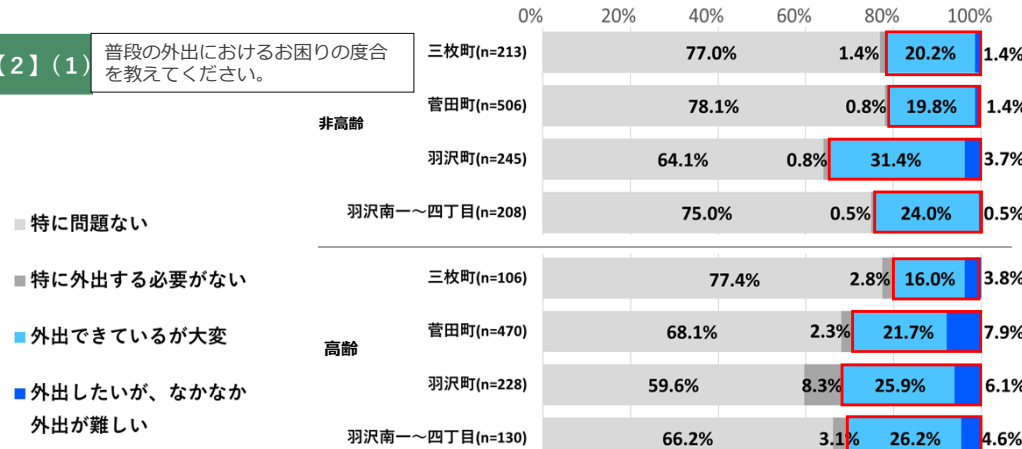
【1】(14) 徒歩で無理なく休まずに移動できる時間



普段の外出におけるお困りの度合い

- 外出で困りごとを感じている（「外出できているが大変」「外出したいが、なかなか外出が難しい」の合計）と回答した人の割合は、高齢・非高齢によらず20～30%程度となっている。
- 外出で困りごとを感じていると回答した人の割合は羽沢町で高い。特に非高齢の困りごとを感じている人の割合について、他エリアより10%程度高い。

【2】(1) 普段の外出におけるお困りの度合いを教えてください。

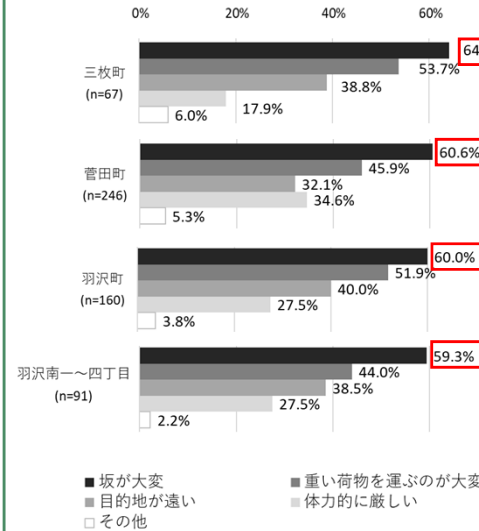


移動手段ごとの困っていること（徒歩・自転車/バス）

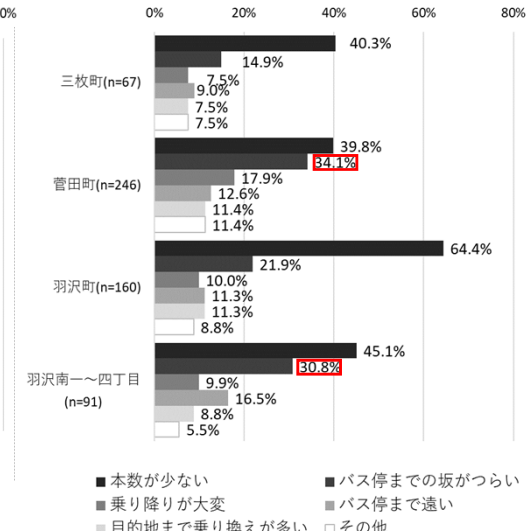
- 「徒歩・自転車」での外出について、回答者の約60%が「坂が大変」と回答している。
- 「バス」での外出について、「本数が少ない」「バス停までの坂がづらい」の順で回答が多い。
- 「バス停までの坂がづらい」という回答は、菅田町、羽沢南一～四丁目目で回答の割合が高い。

【2】(2) 【2】(1)で「外出できているが大変」「外出したいが、なかなか外出が難しい」と答えた方にお尋ねします。普段の外出で困っていることを手段ごとに教えてください。（複数回答）

【徒歩・自転車での外出における困りごと】



【バスでの外出における困りごと】

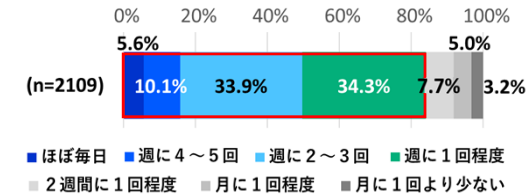


2 食料品や日用品の買い物での外出

頻度

- 回答者の83.9%が週に1回以上買い物での外出をしている。

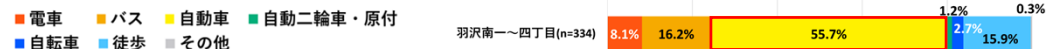
【3】問1 (2) 最もよく行く行き先へ買い物に行く頻度を教えてください。



交通手段

- どのエリアも、自動車を買物の交通手段とする回答者の割合が約半数を占める。
- 三枚町では「自転車」、菅田町では「徒歩」、羽沢町は「バス」を利用すると回答した人の割合が他エリアと比較すると高い。

【3】問1 (3) 最もよく行く行き先へ買い物に行く際に、よく使う交通手段を教えてください。（乗り継ぐ場合は複数回答）



※第6回東京都圏内パーソナルトリップ調査の集計方法を参照し、複数の交通手段を利用する回答の場合、その中で主な交通手段を「代表交通手段」とし、その優先順位は鉄道、バス、自動車(自分が運転)・車(自分以外が運転)・タクシー、自動二輪車・原付、自転車、徒歩の順とする。次頁3において同じ。

3 通院での外出

頻度

- よく行く通院先への通院頻度が、月に1回よりも少ない人がおよそ半数である。

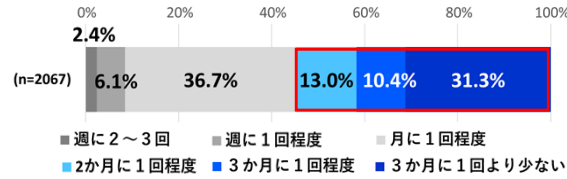
[3] 問2 (2) 最もよく行く行き先へ通院する頻度を教えてください。

交通手段

- 自動車を交通手段とする回答者の割合が高い。
- 三枚町、羽沢南一～四丁目は「徒歩」、菅田町、羽沢町は「バス」を利用すると回答した人の割合が他エリアと比較すると高い。

[3] 問2 (3) 最もよく行く行き先へ通院する際に、よく使う交通手段を教えてください。(乗り継ぐ場合は複数回答)

- 電車
- バス
- 自動車
- 自動二輪車・原付
- 自転車
- 徒歩
- その他

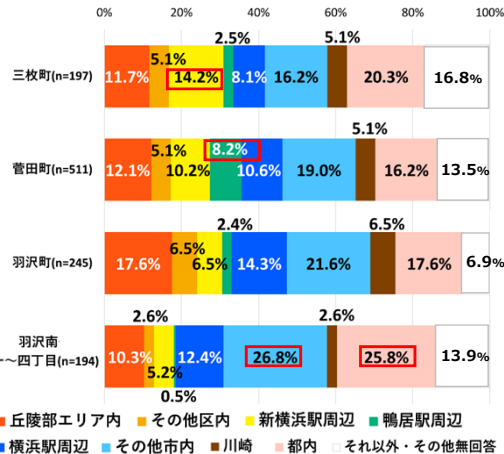


4 通勤・通学での外出

目的地

- 市内だけでなく、都内や川崎市に通勤・通学する人の割合も一定数ある。
- エリア別に比較すると、三枚町は「新横浜駅周辺」、菅田町は「鴨居駅周辺」、羽沢南一～四丁目は「その他市内」「都内」を目的地とする人の割合が高い。

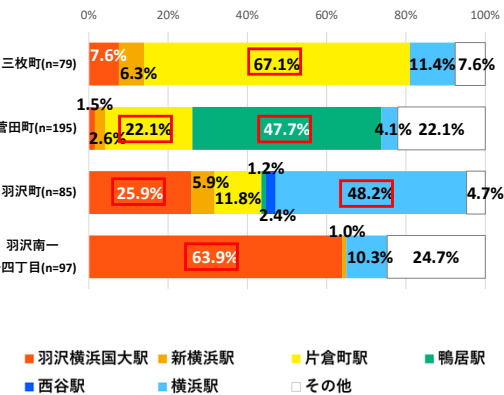
[3] 問3 (2) 通勤・通学の目的地を教えてください。



乗車駅

- 通勤・通学における鉄道利用者の乗車駅は分散傾向にある。
- 三枚町は「片倉町駅」、菅田町は「鴨居駅」「片倉町駅」、羽沢町は「横浜駅」「羽沢横浜国大駅」、羽沢南一～四丁目は「羽沢横浜国大駅」を利用する人が多い。

[3] 問3 (4) 通勤・通学でよく使う移動手段で「電車」を選んだ方にお尋ねします。乗車駅を教えてください



5 店舗に行く以外の買い物

店舗に行く以外の方法による買い物経験

- 高齢者の約半数が店舗に行く以外の方法で買い物をしたことがない。
- スマートフォンを所有している高齢者の方が、所有していない高齢者と比較すると、インターネットを利用した買い物経験がある。

[5] 問4 (1) 食料品や日用品の買い物について、店舗に行く以外の方法を利用したことがありますか。(複数回答)

- インターネットを利用した買い物
- 移動販売
- その他
- 電話・FAX・紙の注文票による買い物
- 利用したことがない

インターネットで買い物を利用しない理由

- 高齢者では「使い方がわからない」という回答の割合が一番高い。

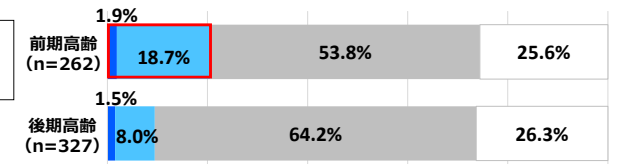
[5] 問4 (2) インターネットで買い物をしない理由を教えてください(複数回答)

操作補助などのサポートがある場合の利用意向

- 前期高齢者では、使ってみたくと回答する人が20.6%存在する。

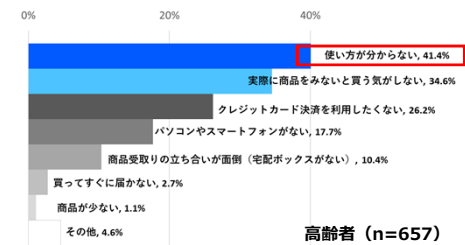
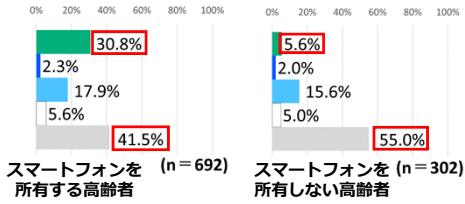
[5] 問4 (3) インターネット操作の補助などのサポートがある場合インターネットを利用して買い物をしたいですか

- 積極的に使いたい
- 試しに使ってみたい
- 使わない
- わからない



■スマートフォンの所有率
今回の調査では後期高齢者を含め、回答者の半数以上がスマートフォンを所有していました。
回答者の所有率：前期高齢 84.3%
後期高齢 55.2%

店舗に行く以外の方法による買い物経験



6 羽沢横浜国大駅開業と相鉄・東急直通線開通

駅開業と相鉄・東急直通線開通による利用する駅の変化...

- 羽沢南一～四丁目は63.7%の人が駅開業後に羽沢横浜国大駅を利用ようになった。相鉄・東急直通線開業後に10.4%の人がさらに利用すると回答している。
- 羽沢南一～四丁目以外のエリアは、直通線開通により新たに新横浜駅を利用する人が一定数いる。

[5] 問3 (1) 羽沢横浜国大駅ができたことにより、主に利用する駅が変わりましたか。

[5] 問3 (2) 相鉄・東急直通線の開通(令和5年3月)により、主に利用する駅が変わりますか。

